

西別院小学校の児童たち 地元で取材活動に励む

西別院町の魅力を CM作り伝えよう

ホームページで公開



CM製作での工夫点などを話す犬甘野グループの児童たち(西別院町で)

西別院町の魅力を伝えるCMをつくらうと西別院小学校(原田綱代校長、21人)の児童たちがグループごとに1月から制作に取り組んできた映像作品(CM)が完成。10日に保護者や地域の人たちを招いて公開した。同校は西別院町青少年健全育成協議会と西別院町子ども育成連絡協議会の3者で今回、3年生以上の子どもたちを対象に「企業家教育」に取り組んだ。

亀岡版

起業家教育とは、チャレンジ精神や探究心、情報収集、実行力、リーダーシップなどを有する人材を育成するもの。講師は同校の卒業生でNPO法人・アントレプレナーシップ開発センター理事長の原田紀久さんが務めた。

14人の子どもたちは模擬の「広報会社」を設立。児童の中から社長や副社長を決めると、自分たちが住む地域の「柚原」「大堂」

「犬甘野」の3班に分かれて、デジカメを使って取材活動。

昨秋に新規就農した女性を訪ねたり、神社や古民家カフェなどを訪問。地元住民にも出会っているいろいろな話を聴かせてもらったことなどを動画や写真撮りした。

編集作業には3人の大学生が協力。子どもたちはBGMやナレーションを織り交せて、2、3分のCMを作り上げた。

班ごとに制作段階の苦労や工夫点を語ってCM披露すると、他のグループの子どもたち

から「写真の部分には声で説明が入っていたのが良かった」と言った感想が聞かれた。保護者らも含め全員で最も良い出来栄のCMを選考したところ、犬甘野グループのCMが選ばれた。CM作品は同校のホームページに掲載して公開される。【高橋敏浩】

地元企業と連携して ものづくりの推進を

府教委が南丹高校で スクールミーティング

今年度、総合学科内に新たにテクニカル工

学系列が開設された馬路町の南丹高校(境田俊之校長)で8日、府教委の「府立学校スクールミーティング」があり、教育委員と地元企業3社の代表が参加し、「地元企業と連携したものづくりの取組について」をテーマに意見交換した。

府教委から橋本幸三教育次長や教育委員の畑正高さんら5人と、南丹市に工場を持つ二九精密機械工業(本市区)の二九良三社長、宮本電機製作所(本社・大井町)の河原耕嗣社長、クロイ電機(本社・京丹波町)の仲谷淳・取締役管理部長らが参加した。



南丹高校と地元企業との連携したもので、ものづくりについて意見交換する参加者たち(馬路町で)

3社はいずれも、南丹高にテクニカル工業系列を新設する計画段階から支援してきた企業。開会の邊会頭は業の課題ものを作

チョコギや丹波栗使った

業。参加実習棟で旋盤機を製する工する実学した。意見交

の社長対して、シッブや業などでい、生のことを業でも学